

新潟県立長岡聾学校

きこえ通信

令和5年度 第4号

当校 HP にも掲載中!
⇒R4~の通級便り、
R5.4~のきこえ通信

新潟県立長岡聾学校通級指導教室
〒940-0093 長岡市水道町2-1-13
Tel 0258-38-0210 (通級指導教室)
*不在の場合5コール程で代表に自動で繋がります。
FAX 0258-39-5665
e-mail school@nagaokarou.nein.ed.jp
発行：令和5年7月

暑い毎日が続きます！適度に休憩を！

雨が降ったり、とても暑かったりを繰り返し、湿気と汗で補聴器が心配なお天気です。先月もお伝えしたとおり、補聴器は精密機械なので水や湿気は故障に繋がる大きな要因です。使用している児童生徒の皆さんは、汗を拭く、補聴器も拭く、補聴器を外したら専用の乾燥ケースや乾燥機で湿気を取ることをお願いしたいと思います。補聴器カバーを使用している場合は、付けっぱなしにしていると、カバーで吸い取った汗が補聴器の湿気となるので、適度に取り替えることをお勧めします。防水タイプ(水着の生地が材料)もあります。ご検討ください。

さて、湿気と暑さには、人間も疲れてしまいます。難聴があると、「情報を得よう!」とより集中して聞こうとしたり、目をこらしたりして、疲れやすいと言われています。室内であれば温度や湿度を調整し、目や耳を休め、早めに就寝して、次の日に元気で活動してほしいと思います。



夏は補聴器も体も気をつけて！対策シリーズ

頭髮や補聴器の汗を拭こう！



乾燥ケースやカバーの利用



湿度や温度の管理



目や耳を休めよう。



早めに就寝しよう。



令和6年4月1日から、
合理的配慮の提供が義務化されます！
内閣府 HP より

すでにご存じの方もいらっしゃると思います。リーフレットの URL はこちらです。

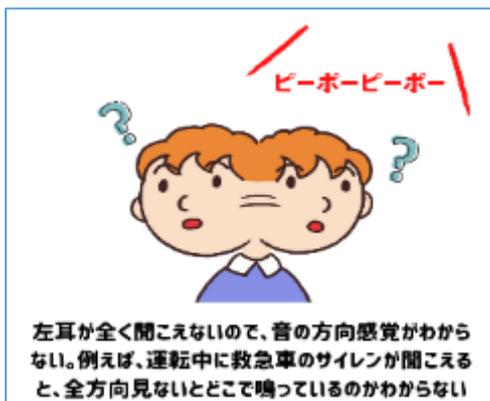
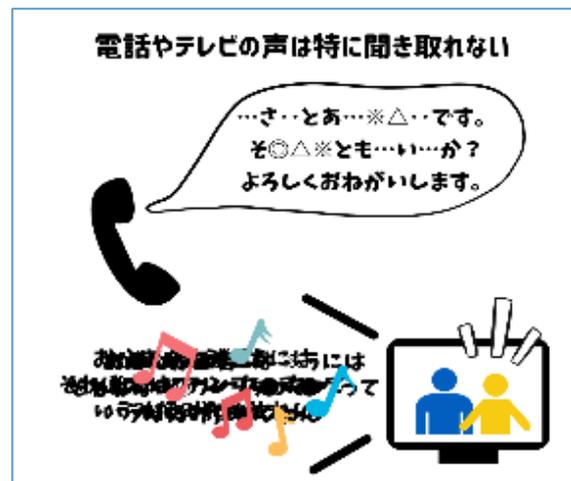
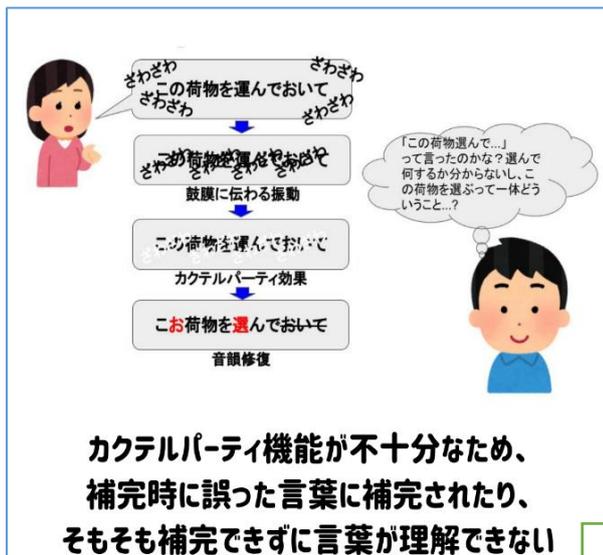
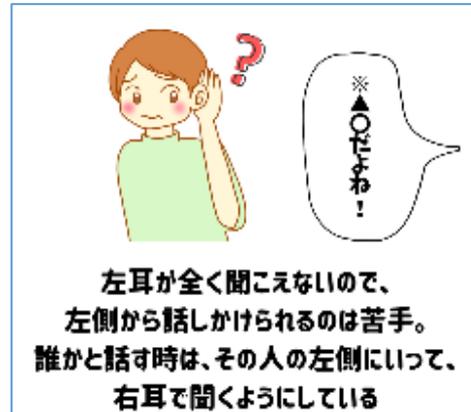
https://www8.cao.go.jp/shougai/suishin/pdf/gouriteki_hairyo2/print.pdf

ポイントは「双方の話し合い」であるとのこと。きこえに限らず、合理的配慮は受けるご本人からの申し出が大切です。協力してほしいことを自分で説明できるように、当校通級でも生徒に指導、支援していきたいと思います。



～難聴のある人は、どのように聞こえているのでしょうか？～

前回までは、オージオグラムから分かる聞こえについて、伝えさせていただきました。実際に話し言葉などは、難聴のある方にどのように聞こえているのでしょうか？補聴器を装着していても全部は聞き取れない方が多いそうです。KIKOELIFEさん(言語聴覚士)のサイトに、難聴のある人による「聞こえの視覚化」のいくつかの例が掲載されていました。ご了解を得てこの通信へ紹介させていただきます。



これらは、難聴のある人はどのようなことで困っているのか、イメージしやすいイラストだと思います。難聴の大変さは端から見て分かりづらく、難聴のある児童生徒は困っていることがあっても言い出せずに、「静かに困っている」と言われています。

以前、当校の通級生徒にこれらのイラストを見せたところ、「全部、自分のことみたい」、「そうそう、こういうこと！」などと、強く共感していました。個人差があり、全員がこのように聞こえるわけではありません。デリケートな問題でもあり、「自分は違う」と受け止める場合もあります。難聴通級でこのようなイラストなどで表す取り組みもよいかもしれません。伝えることと知ること、それぞれお互いに工夫し、毎日の生活や学校などで、困ることがないようにしていきたいと思っています。